

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2025年 6月 30日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会長 藤 洋作 様

所属部局・研究科 医学研究科 医学専攻(肝胆臓移植外科)

職名・学年 博士課程 4年

氏名 大倉 啓輔

助成の種類	令和7年度 ・ 国際研究集会発表助成			
研究集会名	第5回国際腹腔鏡肝臓学会 5th World Congress of the international laparoscopic liver society(ILLS2025)			
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 口頭 ・ <input type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他()			
発表題目	Laparoscopic Versus Open Advanced Hepatectomies in Postoperative Recovery			
開催場所	韓国 ソウル COEX			
渡航期間	2025年 6月 23日 ~ 2025年 6月 27日			
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()			
会計報告	交付を受けた助成金額	100,000円		
	使用した助成金額	100,000円		
	返納すべき助成金額	0円		
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した経費 総額をご記入ください)	費目	金額(円)	
		航空運賃		
		宿泊費		
		滞在費(日当)		
学会参加費		100,000		
その他				
	以上に助成金を充当			
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) このたびは、令和7年度 京都大学教育研究振興財団 国際研究集会発表助成に採択いただき、心より感謝申し上げます。このようなご支援のおかげで、安心して研究に専念できていることを改めて実感いたしました。引き続き、幅広いご支援をお願いいたたく存じます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。			

成果の概要／大倉 啓輔

京都大学大学院 医学研究科 医学専攻 (肝胆膵・移植外科) の大倉 啓輔と申します。このたびは、令和 7 年度京都大学教育研究振興財団 国際研究集会発表助成に採択いただき心より感謝申し上げます。助成金は、学会参加登録費に充当させていただきました。近年の物価高騰・急激な円安のため、海外学会参加に伴う費用負担は大きくなっておりますが、貴在団からのご支援により、令和 7 年 6 月 24 日から 6 月 27 日に、韓国・ソウルにて開催された 5th World Congress of the international laparoscopic liver society (ILLS2025; 第 5 回国際腹腔鏡肝臓学会) に参加し、研究内容を口頭発表させていただきました。演題名は Laparoscopic Versus Open Advanced Hepatectomies in Postoperative Recovery (高難度肝切除術における、腹腔鏡と開腹の術後回復比較) で、高難度肝切除術後、特に Major 肝切除術において、腹腔鏡アプローチが術後早期回復に寄与する可能性について発表いたしました。今後は論文報告を予定しております。

今回出席した ILLS は、腹腔鏡肝切除に関する臨床医が集まる大規模な学会です。近年では腹腔鏡下手術に加えて、ロボット支援下手術がトピックとなっております。日本では低侵襲手術の導入が遅れたため、ILLS は世界の動向や最新の知見を習得する良い機会です。海外ではどのような課題が現在注目されているのか、その一方で日本の取り組みがどれほど海外に受け入れられているのか、どのセッションも興味深く拝聴することができました。今後、日本の肝胆膵領域手術の進むべき方向性、そして日本の強みを改めて考える貴重な機会となりました。

また、世界中より著名な臨床医が多数参加されており、現地では海外の先生方と直接コミュニケーションを取ることができました。現在、大学院生 4 回生であり、学位取得後は海外留学を検討しています。何人かの先生へご挨拶することができたのは、今後のキャリア形成にも大いに役立つものと感じております。さらにコンタクトを続け、次のステップに繋げていきたいと考えております。

貴在団のご支援のおかげで、このような貴重な経験を得ることができました。また採択後、学会開始までの期間が短かったにもかかわらず、迅速にご送金いただき、安心して渡航することができました。関係各所の皆様を含めまして、心より御礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。